



芳賀町長 見目 匡

明けましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた清々しい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年5月の町長就任以来、町民の皆さまに「住んで良かった」「住んでみたい」と思っていただけ「まちづくり」を実践してまいりました。

昨年を振り返りますと、大雨被害や竜巻の発生など自然災害に悩まされる年でしたが、町民の皆さまの安全・安心のため、今後も適切な対応をしてまいります。

また、うれしい話題としては、念願の次世代型路面電車（LRT）事業が宇都宮市と力を合わせスタートすることができ、運営主体の「宇都宮ライトレール株式会社」も設立されました。さらに、「町特産の」にっこり梨」の輸出の実現や農

産物PR用のQRコード入り記念切手の発売、芳賀中学校バレーボール部の全国大会ベスト16入りなどがありました。

さて、本年は、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像として、第6次芳賀町振興計画を策定いたします。「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」そして「地域をつなげる」の5つのキーワードを組み合わせ、芳賀町の将来像の実現を図ります。

具体的には、平成31年度の運行開始を目指すLRT事業の推進や芳賀高校跡地を活用した住宅地の造成、新たな工業用地の確保、町の将来を担う人間性豊かな子どもたちの育成を図ってまいります。また、梨や米などの価値を上げることで芳賀町ブランドを確立し農

業の振興を図るとともに、プレミアム商品券発行の補助や道の駅はがの充実等による商業の振興の推進、進行する少子高齢化への対応のため、子育て支援の充実や地域密着型介護施設の整備について検討を進めてまいります。さらに、広報紙や芳賀チャンネルなどによる情報提供の充実、ごみの減量化を目指す循環型社会の推進、交通安全や防犯対策、増加しつつある自然災害への対応など適切に進めてまいります。

芳賀町の魅力や話題などの情報を多くの皆さまに発信しながら、芳賀町の持つポテンシャルを生かし、「明るい未来」を創造していきたいと考えておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



芳賀町議会議員 増淵 さつき

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、地球温暖化に起因する異常気象により「関東・東北豪雨」に代表される大雨の被害が各地で多発しました。改めて災害列島日本を再認識させられた出来事でした。幸い本町の被害は小さかったものの、今後も気候変動による災害への対策は喫緊の課題となっています。世界でも、民族や宗教に起因する紛争に加えて、地球温暖化による水不足が紛争の火種となつていきます。

折しも昨年12月に、フラ

ンスのパリで「国連気候変動枠組条約第21回締約会議（COP21）」が開催されました。国の温室効果ガス削減目標の履行は当然のことながら、「ハチドリ」のひとりごと「フスタイルの変更も含め、私たち一人一人の地球温暖化防止への取り組みが求められています。

わが町には他市町に誇れる「環の町芳賀」の思想があります。3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、可燃ごみの削減をめざし、ゴミを宝にという考え方です。その結果、町民一人当たりのごみ排出量は県平均を大きく下回り、リサイクル率も県内上位となつていきます。

また、宇都宮市とともに進めているLRTの導入に

についても、公共交通機関の利用促進による低炭素地域づくりという環境の側面からも理解が深められればと思います。

新しい年の幕開けとともに、本年は第6次振興計画の初年度でもあります。限りある資源を奪い合うのではなく、分かちあえる心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりに励みたいと思います。

今後とも、町民の皆さまのご期待に応えられるよう開かれた議会、信頼される議会を目指し一層努力してまいります。

結びに、郷土芳賀町の限りない繁栄と本年が皆さまにとって健康で幸せな年でありませう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。